

漁業構造改革総合対策事業の進捗状況

平成23年8月10日時点

連番	漁業構造改革プロジェクト進捗状況						用船の概要					
	地域プロジェクト運営者	地域プロジェクト名称	漁業種類	事業実施者	改革計画の認定状況	コンセプト	用船名	取組みタイプ	再生事業	個別コンセプト	実証(用船)開始	
1	八戸漁業指導協会	八戸①	大中型まき網	青森県旋網漁業協同組合	○ 平成19年6月25日	H20年4月から、船団の縮小(4隻→2隻)等の改革型漁船による操業を開始。 ※H23年3月末で終了。	第八十三惣寶丸	改革型	—	ミニ船団化(4隻→2隻、52名→33名)、燃油削減、操業合理化、冷凍サバ開発等	H20年4月開始 H23年3月終了	
		八戸②	大中型まき網	青森県旋網漁業協同組合	○ 平成22年8月30日	H23年5月から複数海域操業型で船団の縮小(4隻→3隻)等の改革型漁船による操業を開始	第六十三惣寶丸	改革型	—	ミニ船団化(4隻→3隻、52名→42名)、セミエアープラスト凍結、ブランド化推進等	H23年5月開始	
		八戸③	小型機船底びき網等	八戸みなと漁業協同組合	○ 平成23年5月13日	改革型漁船の導入によりコスト削減及び鮮度向上・付加価値向上等を図る。	未定丸	改革型	—	安全性の確保(鋼船→FRP船、サイド→船尾揚網)、省エネ・省人化、鮮度保持、衛生管理等	H24年度予定	
2	(財)千葉県水産振興公社	千葉県①	沖合底びき網	銚子市漁業協同組合	○ 平成20年2月15日	H20年6月から、従来漁船(74t)を廃船し小型化(19t)した改革型漁船により、活魚出荷の比率向上等を目指す操業を開始。 ※H23年5月末で終了。	富丸	改革型	○	漁船小型化(50~70t→19t)、生産組合による協業化、活魚比率向上、直販等高付加価値化	H20年6月開始 H23年5月終了	
		千葉県②	沖合底びき網	銚子市漁業協同組合	○ 平成22年12月10日	従来漁船(74t)を廃船し小型化(19t)、作業効率化、鮮度管理向上を図った船主ブリッジ型の改革型漁船を導入	吉代丸	改革型	○	船体の小型化(70トン型→19トン)によるコストの削減、船首ブリッジによる作業性・安定性の向上、滅菌海水装置導入等による鮮度保持等	H24年度予定	
3 4 5 6 7 8	北海道機船漁業同組合連合会	北海道機船漁業	室蘭地区	沖合底びき網	室蘭漁業協同組合	○ 平成19年9月19日	H20年9月から、省コスト共通船型等の改革型漁船第1船目(11萬漁丸)による操業を開始し、H21年8月に終了。H21年9月から第2船目(72萬漁丸)による操業を開始。	第十一萬漁丸	改革型	—	省コスト共通船型、省人化、操業共同化、活魚出荷、鮮魚輸出等	H20年9月開始 H21年8月終了
			小樽地区	沖合底びき網	小樽機船漁業協同組合	○ 平成20年6月24日	H20年9月 地域の漁船9隻のうち3隻を減船し合理化、省エネ・省コスト型の改革型漁船による操業を開始	第八十一桂丸	改革型	○	生産体制合理化、協業化、省エネ・省人・省コスト化、資源管理、地域ブランド化、新製品開発・拡販、高鮮度保持等	H22年2月開始
			釧路地区	沖合底びき網	釧路機船漁業協同組合	○ 平成21年10月21日	H22年9月から、高鮮度出荷や船内1次加工による高付加価値化を目指した改革型漁船(15萬丸)による操業を開始。第2船目を建造予定。	第十五富丸	改革型	—	省エネ化、船内魚艙用コンテナ設置による漁獲物の高鮮度・高品質出荷	H22年9月開始
			紋別地区	沖合底びき網	紋別漁業協同組合	策定中		未定丸	改革型	—	船内一次加工処理による付加価値向上	H23年度予定
			広尾地区	沖合底びき網	—	—	—					
			稚内地区	沖合底びき網	—	—	—					
9	鳥取県漁業協同組合	賀露①	沖合底びき網	鳥取県漁業協同組合	○ 平成20年1月21日	H20年9月から、活魚出荷の比率向上、省エネ船型等の改革型漁船による操業を開始	第三生洋丸	改革型	—	活魚比率向上、滅菌海水・シャーベット海水水導入、大口径プロペラ省エネ船型等	H20年9月開始	
		賀露②	沖合底びき網	鳥取県漁業協同組合	○ 平成22年3月25日	船上凍結により高鮮度な加工原魚や高品質な冷凍魚の供給を行うなど高付加価値化を目指した改革型漁船を建造予定。	正東丸	改革型	—	船上凍結機能の搭載、軽量漁具の導入と曳網時間短縮等によるさらなる省エネ化等	H23年9月予定	
10	但馬漁業協同組合	香住	べにずわいかん(知事許可)	但馬漁業協同組合	○ 平成20年7月31日	H20年9月から、べにずわいがに用の常設活魚艙等を装備した改革型漁船による操業を開始	栄福丸	改革型	—	活魚による付加価値向上、資源回復計画推進、ブランド化推進	H20年9月開始	

連番	漁業構造改革プロジェクト進捗状況						用船の概要						
	地域プロジェクト運営者	地域プロジェクト名称		漁業種類	事業実施者	改革計画の認定状況	コンセプト	用船名	取組みタイプ	再生事業	個別コンセプト	実証(用船)開始	
11・12・13	北部太平洋まき網漁業協同組合連合会	北部太平洋まき網漁業	大津地区		大中型まき網	北部太平洋まき網漁業協同組合連合会	○ 平成20年1月21日	H20年10月から、船団縮小(4隻→3隻)等の改革型漁船による操業を開始	第七新丸	改革型	—	HACCP対応型運搬兼探索船、船団スリム化(4→3隻、46→41名)、高鮮度水揚げ地域活性化等	H20年10月開始
			波崎地区	波崎①	大中型まき網	はさき漁業協同組合	○ 平成20年6月11日	H21年8月から、船団縮小(4隻→2隻)等の改革型漁船による操業を開始	第八十八石田丸	改革型	—	ミニ船団化(4隻→2隻、50名→35名)、安全性・居住性確保、省コスト化 ※事業費未使用で実証	H21年8月開始
				波崎②	大中型まき網	はさき漁業協同組合	○ 平成21年6月25日	H22年4月から船団の縮小(4隻→3隻)等の改革型漁船による操業を開始	第八十八稲荷丸	改革型	—	船団スリム化(4→3隻、47→39名)、安全性・居住性確保、高付加価値製品生産、地域ブランド確立・拡販	H22年4月開始
				浜崎③	大中型まき網	はさき漁業協同組合	○ 平成23年5月13日	船団の縮小(4隻→3隻)等の改革型漁船による操業。EUHACCP対応型の運搬船の導入による高鮮度・高付加価値製品の生産	未定丸	改革型	—	船団スリム化(4→3隻、49→42名)、安全性・居住性確保、高付加価値製品生産、地域ブランド確立・拡販 ※事業費未使用で実証	H24年予定
			小名浜地区	小名浜①	大中型まき網	福島県旋網漁業協同組合	○ 平成21年8月19日	H21年10月から、2ヶ統8隻体制から7隻体制に合理化したモデル船団による収益性回復の実証の操業を開始	第三十一寿和丸、第三寿和丸	マイルド	—	船団スリム化(2ヶ統8隻体制→2ヶ統7隻体制)、高鮮度製品生産、地域連携販路拡大	H21年10月開始
小名浜②	大中型まき網	北部太平洋まき網漁業協同組合連合会		○ 平成23年5月13日	船団の縮小(4隻→3隻)、コンテナバック等の導入を検討	未定丸	改革型	—	船団スリム化(4→3隻)による省エネ・省コスト化、コンテナバック導入による鮮度保持等	H24年度予定			
14	日本遠洋旋網漁業協同組合	遠旋組合①(九州北西地域)		大中型まき網	日本遠洋旋網漁業協同組合	○ 平成20年2月15日	H21年1月から、船団の縮小(5隻→4隻)等の改革型漁船による操業開始	第八十一天王丸	改革型	—	船団スリム化(5隻→4隻)、安全性・居住性確保、操業コスト削減、操業効率化	H21年1月開始	
		遠旋組合②(九州北西地域)		大中型まき網	日本遠洋旋網漁業協同組合	○ 平成22年3月25日	2船団10隻体制から9隻体制による合理化したグループ操業船団によるトータルコストの削減可能な改革型漁船を建造予定。	第八十一大栄丸	改革型	—	2船団10隻体制から9隻体制によるグループ操業化、安全性・居住性確保やトータルコストの低減	H23年4月開始	
15	石巻市水産振興協議会	石巻①		大中型まき網	宮城県旋網漁業協同組合	○ 平成20年2月15日	H21年8月から、単船操業が可能な改革型漁船による操業を開始	第二たいよう丸	改革型	—	単船化、省エネ・省人化、操業コスト削減、サバ船内凍結等	H21年8月開始	
		石巻②	沖合底びき網	渡波漁船漁業協同組合	○ 平成22年3月25日	代型底びき網漁船を建造予定 ①沖合底びき網漁船(19トン型) H21年9月から、新型トロールウィンチの導入による作業の効率化、船上での活〆、脱血処理による高級魚の付加価値向上の改革型漁船による操業を開始 ②小型底びき網漁船(9.7トン型) H22年12月から、小型化(14トン→9.7トン)、冷水循環装置の導入による活魚率の向上の改革型漁船による操業を開始。 ③小型底びき網漁船(9.7トン型) H22年6月から、他漁業との兼業化によるコスト削減、冷水循環装置の導入による活魚率の向上の改革型漁船による操業を開始。	第3福寿丸	改革型	—	大口径プロペラ等による省エネ化、新型トロールウィンチによる作業の効率化、船上での活〆、脱血処理による高級魚の付加価値向上	H22年9月開始 (H23年4月より休止)		
			小型底びき網									船体の小型化、スーパーキャップ付きプロペラによる省エネ化、冷水循環装置の導入による活魚率の向上(被災により代船を検討)	H22年12月開始 (H23年4月より休止)
			小型底びき網									他漁業との兼業化によるコスト削減、スーパーキャップ付きプロペラによる省エネ化、冷水循環装置の導入による活魚率の向上(被災により代船を検討)	H22年6月開始 (H23年4月より休止)
石巻③		沖合底びき網	未定	策定中									
16	(社)境港水産振興協会	境港①		べにずわいがに籠(大臣許可)	鳥取県漁業協同組合	○ 平成20年11月14日	H21年9月から、省エネ・省コスト型で高鮮度保持が可能な改革型漁船による操業を開始	第五十五吉丸	改革型	—	省エネ・省コスト化、シャーベット氷導入付加価値向上、エコラベル取得、地域連携PR活動等	H21年9月開始	
		境港②		沖合底びき網	(リース事業の活用)	—	—	リース事業の活用により対応、改革計画策定はしない。	未定丸	改革型	—		
17	但馬漁業協同組合	柴山		沖合底びき網	但馬漁業協同組合	○ 平成21年7月7日	H21年9月から、耐候性のある船首ブリッジ型ずわいがにこだわり型漁船(1船目・光春丸)、H22年9月から魚類の高品質生産が可能な改革型漁船(第2船目・西善丸)による操業を開始	光春丸	改革型	—	常設活魚倉設置、冷水循環ろ過・紫外線殺菌装置導入、作業性・安全性向上等ずわいがにこだわりタイプ(船首ブリッジ型)	H21年9月開始	
								西善丸	改革型	—	作業スペース確保、網揚げ選択性、冷凍能力向上、高機能選別機導入等高品質魚類対応タイプ(船体ブリッジ型)	H22年9月開始	

連番	漁業構造改革プロジェクト進捗状況						用船の概要				
	地域プロジェクト運営者	地域プロジェクト名称	漁業種類	事業実施者	改革計画の認定状況	コンセプト	用船名	取組みタイプ	再生事業	個別コンセプト	実証(用船)開始
18	浜坂町漁業協同組合	浜坂	沖合底びき網	浜坂町漁業協同組合	○ 平成21年7月7日	H21年9月から、従来漁船(90t型鋼船)を廃船し小型化(65t型FRP船)した改革型漁船による操業を開始	長勢丸	改革型	○	船体小型化・FRP導入生産コスト削減、省エネ・省人化、作業効率化・安全性向上、地域連携高付加価値化等	H21年9月開始
19	山口県以東機船底曳網漁業協同組合	下関	沖合底びき網(2そう曳き)	山口県以東機船底曳網漁業協同組合	○ 平成23年6月3日	漁船の省エネ・省力化、鮮度保持機能・衛生管理の向上、地域ブランド未利用資源の利用を検討	未定丸	改革型			
20	静岡県旋網漁業者協会	静岡県旋網漁業	大中型まき網	戸田漁業協同組合	○ 平成21年3月11日	H23年1月から、船団縮小(6隻→5隻)、高鮮度・衛生管理等の改革型漁船による操業を開始	第十六大師丸(運搬船兼灯船)	改革型	—	船団スリム化(6隻→5隻、63名→57名)、探索兼運搬船の灯船・探索機能化、省エネ、電気推進、安全性、操船性、居住性の向上等	H23年1月開始
21	和歌山南漁業協同組合	紀伊水道	中型まき網	和歌山南漁業協同組合	○ 平成21年3月11日	H21年7月から、9隻体制から7隻体制に合理化したモデル船団による収益性回復の操業を開始	第一吉幸丸、第二吉幸丸	マイルド	○	船団スリム化(9→7隻)、省エネ・省人化、鮮度保持規格統一、地域ブランド確立、付加価値向上、販売体制強化	H21年7月開始
22	気仙沼漁業協同組合	気仙沼①	近海まぐろはえ縄	気仙沼漁業協同組合	○ 平成21年10月21日	H22年8月(7勝漁丸)、H22年10月(17祐喜丸)から、省エネ・省コスト化、労働環境の改善、高鮮度保持可能な次世代型まぐろ延縄漁船による操業を開始	第十七祐喜丸	改革型	—	(119t)メカジキを対象として、航海日数、針数削減による高鮮度化	H22年10月開始
		気仙沼②	近海まぐろはえ縄	未定	策定中	近海まぐろ延縄漁船10隻の集団操業と水揚げ量の均衡化、2隻のペア操業による省エネ・操業時間の短縮、シャベット氷による初期冷却促進等収益性回復を検討	未定丸	マイルド		(145t)省エネ・省力・省人化、労働環境の改善、ヨシキリザメの高鮮度水揚げ	H22年8月開始
23	浜田市水産業振興協会	浜田	沖合底びき網(2そう曳き)	漁業協同組合JFLまね	審査申請中	漁船のリシップ等による省エネ・高鮮度化・活魚の販売促進等による収益性回復を検討	未定丸	マイルド			
24	日本かつお・まぐろ漁業協同組合	遠洋まぐろ延縄漁業①(気仙沼)	遠洋まぐろはえ縄	日本かつお・まぐろ漁業協同組合	○ 平成22年12月24日	船上ロイン加工、省エネ等による収益性回復	未定丸	マイルド		40kg以上のメバチの船上ロイン加工、量販店への販売、省エネ・コスト削減等	未定
		遠洋まぐろ延縄漁業②(宮古)	遠洋まぐろはえ縄	日本かつお・まぐろ漁業協同組合	○ 平成23年2月18日	省エネ船、脱血処理等の徹底による漁獲物の付加価値向上等の改革型漁船の建造を予定	未定丸	改革型	—	冷凍機のインバータ制御による省エネ、脱血処理等の徹底による漁獲物の付加価値向上	H24年度予定
		遠洋まぐろ延縄漁業③(高知)	遠洋まぐろはえ縄	日本かつお・まぐろ漁業協同組合	審査申請中	既存船の省燃費型への改修、大型ピンナの船上加工等による収益性回復を検討	未定丸	マイルド			
		遠洋まぐろ延縄漁業④(焼津)	遠洋まぐろはえ縄	日本かつお・まぐろ漁業協同組合	○ 平成23年5月18日	燃油消費量の削減、超深網漁法の導入、コールドチェーンの再構築等により収益性回復を図る	未定丸	マイルド		漁獲物保冷温度を上げコールドチェーンの再構築を目指すとともに、冷凍機のインバータ制御による省エネ、深網導入による釣獲率向上等	
		遠洋まぐろ延縄漁業⑤(尾鷲)	遠洋まぐろはえ縄	日本かつお・まぐろ漁業協同組合	審査申請中	漁船の小型化等によるコスト削減、アルコルスラリーアイスの導入による高品質メバチの製造等改革型漁船の導入を検討	未定丸	改革型			
		遠洋まぐろ延縄漁業⑦(三重)	遠洋まぐろはえ縄	日本かつお・まぐろ漁業協同組合	策定中	複数隻の省エネ、協業化等によるコスト削減、漁獲物処理等の共通基準の設定等の取組を検討	未定丸	マイルド			
25	日本かつお・まぐろ漁業協同組合	遠洋かつお一本釣り漁業①	遠洋かつお一本釣り	日本かつお・まぐろ漁業協同組合	○ 平成22年3月25日	H22年9月から、インバーター設置による燃油使用量の10%以上の削減等の収益性回復の実証操業を開始	第八勝栄丸	マイルド	—	インバーター設置による燃油使用量の削減、船上活き脱血装置による高付加価値化(S-1カツオの製造)等	H22年9月開始
		遠洋かつお一本釣り漁業②	遠洋かつお一本釣り	日本かつお・まぐろ漁業協同組合	○ 平成23年2月18日	遠洋かつお一本釣りと海外まき網漁業とのハイブリッド化による操業コストの削減	未定丸	改革型	—	遠洋かつお一本釣りと海外まき網漁業とのハイブリッド化による操業コストの削減	H24年度予定
26・27	全国さんま棒受網漁業協同組合	大船渡地区	さんま棒受網	大船渡市漁業協同組合	○ 平成23年5月13日	専業型・改革型漁船の導入によるコスト削減・安全性の確保、高付加価値さんまの生産・流通を図る	未定丸	改革型	—	大型化による安全性・居住性の確保、LED集魚灯の導入等による省エネ、冷凍さんま生産及び高鮮度鮮魚。高衛生管理の新たな高付加価値化等	H23年度予定
		気仙沼地区	さんま棒受網	未定	審査申請中	兼業型・改革型漁船の導入によるコスト削減・安全性の確保、高付加価値等に向けた取組を検討	未定丸	改革型			

連番	漁業構造改革プロジェクト進捗状況						用船の概要					
	地域プロジェクト運営者	地域プロジェクト名称	漁業種類	事業実施者	改革計画の認定状況	コンセプト	用船名	取組みタイプ	再生事業	個別コンセプト	実証(用船)開始	
28	(社)日本トロール底魚協会	宮城県塩釜	遠洋底びき網	(社)日本トロール底魚協会	○ 平成21年7月7日	H21年8月から、遠洋底びき網漁船による新規漁場(インドネシア水域)の開発を行い、収益性回復の実証を実施	第六十八福吉丸	マイルド	—	インドネシア200海里内新規漁場開発、同海域未利用資源市場調査等	H21年8月開始(1年目で終了)	
29	(社)海外まき網漁業協会	山川	海外まき網	山川町漁業協同組合	○ 平成21年7月7日	H21年11月から、加工原料及び海外漁場の確保を図るため、ハフアニューギニアを基地としたまき網漁業を行うことで、収益性回復の実証操業を開始	第八わかば丸	マイルド	—	国際漁場競争力強化、艚節原料安定供給等	H21年11月開始	
30	奈留町漁業協同組合	五島中型まき網	中型まき網	奈留町漁業協同組合	○ 平成22年3月25日	H22年6月から、4船団で協業化・船団縮小(灯船2隻と運搬船1隻を削減し、トータルコストの削減、高付加価値化の取組等の収益性回復の操業を開始。 H23年4月から、船団縮小(7隻→6隻)、運搬機能付き改革型網船の導入等による操業を開始。	恵比須丸	改革型	—	省エネ型主機の搭載、保冷機能を装備した網船兼運搬船の導入、運搬船1隻の廃止による操業形態の合理化(7隻、乗組員30人→6隻、乗組員27人)	平成23年4月開始	
							第八十八順洋丸、第二十八有漁丸、第一善久丸、大黒丸	マイルド	—	灯船2隻と運搬船1隻を削減し、灯船2隻と運搬船1隻の共同利用による操業形態の合理化、まぐろ養殖向け餌料供給	H22年6月開始	
31	宮崎県漁業協同組合連合会	北浦	中型まき網	北浦漁業協同組合	○ 平成22年8月30日	H23年4月から改革型2船団、マイルド型4船団による共同探索、運搬船の相互利用、アジの活魚化効率向上、コマサハの蓄養(投餌)・活魚出荷の実現に向けた操業を開始	第十二海幸丸 第六十八浩栄丸	改革型	—	低抵抗船型及び水運搬機能付き網船の導入等による省エネ・省人化並びに北浦灘アジの活魚率向上等	H23年4月開始	
							第二十八申栄丸、海漁丸、第三十六長漁丸、龍王丸他	マイルド	—	共同探索、運搬船の相互利用等による操業効率及び活魚化率の向上等	H23年4月開始	
32	野母崎三和漁業協同組合	野母崎	中型まき網一本釣り	野母崎漁業協同組合	—	H23年度より地域プロジェクトを休止	—	—	—	—	—	
33・34	鳥取県漁業協同組合	網代港	省エネ化部会(沖底)	沖合底びき網	鳥取県漁業協同組合	○ 平成22年3月25日	H23年4月から、保冷装置付活魚水槽等を装備した新たな改革型漁船による操業を開始	平成丸	改革型	—	保冷装置付活魚水槽等を装備した新たな改革型漁船を導入、高鮮度化と未利用魚の有効利用により付加価値向上	H23年4月開始
			定置網部会	定置網	鳥取県漁業協同組合	審査申請中	揚網作業の効率化、活魚率・鮮度向上、大目合網の導入等に向けた取組を検討	未定丸	改革型			
35・36	(社)全国近海かつお・まぐろ漁業協会	近海かつお・まぐろ	沖縄地区	近海まぐろ延縄	未定	策定中	魚船構造の改善による高度衛生化、シャープベット海水水を用いた冷却活用による鮮度向上		マイルド			
			日南・南郷地区	近海かつお一本釣り	日南市漁業協同組合	○ 平成22年6月30日	H23年4月から、船体の小型化(70トン→19トン)、漁獲物の高品質化等の改革型漁船による操業を開始	第28進漁丸	改革型(省エネ)	○	小型化(70→19t)、省エネ化タイプ船、海水滅菌装置導入等による高品質化、居住性安全性の向上等	H23年4月開始
							第三宝漁丸	改革型(省人)	○	小型化(70→19t)、省人化タイプ船、海水滅菌装置導入等による高品質化、居住性安全性の向上等	H23年4月開始	
37	落石漁業協同組合	根室	サケ定置等	未定	策定中	高鮮度・高品質出荷に向けた取組を検討	未定丸	改革型マイルド				
38	紋別漁業協同組合	オホーツク紋別	小型機船底びき網	紋別漁業協同組合	○ 平成22年6月30日	当該地域で6隻廃用し、衛生管理型省エネ船2隻を導入し、漁獲から出荷まで一貫した衛生管理の取組を検討	漁業経営体質強化対策事業を実施	—	—	—	—	
39	宮城県漁業協同組合	亘理	小型機船底びき網	宮城県漁業協同組合	○ 平成23年2月18日	小型底びき網漁業と火光利用敷網漁業との兼業化、漁獲物の活魚出荷率の向上等	未定丸	改革型	—	小型底びき網漁業と火光利用敷網漁業との兼業化、低抵抗漁具の導入、漁獲物の高鮮度化と活魚出荷率の向上等	H23年度予定	
40	八幡浜漁業協同組合	八幡浜	沖合底びき網(2そう曳き)	未定	策定中	2艘曳き沖合底びき網漁船の省エネ・省人化、不付加価値向上等の方向性を検討		改革型マイルド				
41	岩手県底曳網漁業協会	宮古・釜石	沖合底びき網(2そう曳き)	宮古漁業協同組合	○ 平成23年5月13日	省エネ型漁船の導入、省人化・省力化、漁獲物の衛生管理・付加価値の向上等の改革型漁船の建造を予定	未定丸	改革型				
42	三重外湾漁業協同組合	三重外湾	中型まき網	三重外湾漁業協同組合	審査申請中	中型まき網漁船の省エネ・省人化、安全性の確保、付加価値向上等に向けた取組を検討	未定丸	改革型				

連番	漁業構造改革プロジェクト進捗状況						用船の概要					
	地域プロジェクト運営者	地域プロジェクト名称	漁業種類	事業実施者	改革計画の認定状況		コンセプト	用船名	取組みタイプ	再生事業	個別コンセプト	実証(用船)開始
43・44	青森県漁業協同組合連合会	青森県漁業協同組合連合会	深浦地区	沖合底びき網	深浦漁業協同組合	審査申請中	省エネ型小型漁船(50トン型→19トン)、漁獲物の衛生管理・付加価値の向上等の改革型漁船の建造を予定	未定丸	改革型			
			十三地区	底建網	未定	策定中	省エネ・安全性に優れた漁船の導入、高鮮度・高品質化の促進等に向けた取組を検討※計画策定を取りやめる方向である旨の連絡あり(6/15)	未定丸	改革型			
45	(社)全国遠洋沖合いかつり漁業協会	全国遠洋沖合いかつり	いか釣り	未定	策定中	省エネ・高品質化の促進等に向けた取組の検討	未定丸	改革型マイルド				
46	京都府漁業協同組合連合会	舞鶴市	定置網	京都府漁業協同組合	審査申請中	船団の縮小(5→3隻)、改革型漁船・漁具の改良等による省人省力化、コスト削減、活魚率向上等付加価値向上に向けた取組を検討	未定丸	改革型				
47	枕崎市漁業協同組合	枕崎	遠洋かつお(一本釣り・まき網)	未定	策定中	新たな漁法の導入、高品質化に向けた取組を検討	未定丸	マイルド				
48	山口県漁業協同組合	萩市小型いかつり	小型いかつり	未定	策定中	共同化・省エネ・高品質化の促進に向けた取組を検討	未定丸	マイルド				
49	長崎県以西底曳網漁業協会	長崎以西底曳網漁業	以西底びき網	未定	策定中		未定丸					

連番	漁業構造改革プロジェクト進捗状況(養殖)						生け簀借り上げ等の概要					
	地域プロジェクト運営者	地域プロジェクト名称	漁業種類	事業実施者	改革計画の認定状況		コンセプト	用船名	取組みタイプ	再生事業	個別コンセプト	実証開始
50	愛媛県漁業協同組合連合会	愛媛県真珠養殖業	真珠養殖業	明浜漁業協同組合、他5漁協	○	平成22年6月30日	当年物真珠から越物真珠生産への切り替えを中心とした、高品質化による生産性向上の取組を検討	—	改革型	—	越物真珠生産による高品質化、各地区ごとの海洋環境に合わせた養殖方法の最適化、2年貝、国産貝の使用と2核挿入の導入、共販体制強化・販売ロットの大型化、需要にあわせたサイズ供給	H22年11月開始
51	立神真珠養殖漁業協同組合	立神真珠養殖業	真珠養殖業			策定中						

\* 取組タイプ:「改革型」とは、改革型漁船の導入等による収益性改善の取組をいい、「マイルド」とは、3%以上の生産性向上等の収益性回復の取組をいう。